

特別の教科道徳 出前授業



2024年度 合同会社にぬふぁ一星 地域貢献事業

過去実績
40クラス
11校

実施校
沖縄市 2校
うるま市 6校
南城市 1校
神奈川県 1校
北海道 1校

2023、11、18日
RBC つなごう沖縄
放送

2023、8、9日
沖縄タイムス掲載

2023、12、23日
RBC iラジオ
ナガハマヒロキの
週間リッスン

専門家から
子どもたちへ

プロフィール 仲程 斎人（なかほど なおと）

合同会社にぬふぁ一星代表。過去に保育園や小学校、放課後等デイサービスに務め管理職や児発管を経験。2016年にはさらなる知識を学ぶため、東京都に住まいを移し、発達支援関連の研究会にて知識を得る。2021年には沖縄に戻りにぬふぁ一星を立ち上げ、同年には国家資格である公認心理師を取得し、教育・保育・心理の幅広い側面から支援を行っている。

現在は、各種学校等への訪問支援や講演会に勤しみ、2023年7月には絵本「ぼくはもう怪獣じゃないぞ！」を出版。絵本を用いた出前授業はRBC（テレビ）やラジオで取り上げられ、延べ40クラスへ授業を実施してきた。

【資格】

- ・公認心理師
- ・小学校教諭（臨時教諭として4年間勤務）
- ・幼稚園教諭
- ・保育士（保育園や放課後等デイサービス職員として5年間）

【所属】

- ・合同会社にぬふぁー星代表
- ・近畿大学九州短期大学部 非常勤講師（2023年度）
- ・エルケア保育医療専門学校 非常勤講師（2023年度）
- ・東京都保育士等キャリアアップ研修
障害児保育（15時間）講師
- ・子ども発達支援研究会 認定講師
- ・発達障害臨床研究会（宇佐川研）会員
- ・沖縄県公認心理師協会会員

【研修実績等】

- ・沖縄市教育委員会 SSW向け研修
- ・県立高校全日定時 全職員向け研修
- ・その他、毎年10回程度公演や出前授業を実施
- ・うるま市全小学校へ絵本「ぼくはもう怪獣じゃないぞ！」を寄贈

【訪問支援実績：法人統計】

名護市 金武町 恩納村 読谷村 うるま市
沖縄市 北谷町 宜野湾市 北中城村 浦添市
計 44校 77名

HP



RBC 取材動画



お問い合わせ

098-988-5217

ninfabusi@gmail.com

費用

1時間4400円（税込）
と交通費（1km30円）
※市町村やご都合に合
わせて調整可能



(解説)

ぼくはもう 怪獣じゃないぞ!

文 仲程 翔人
絵 なお たくま



はじめに

・絵本「ぼくはもう怪獣じゃないぞ!」は、お子さん自ら読むために設定された作品ではなく、大人が子ども(子ども達)へ読み聞かせ、そこからさまざまに想像を膨らますように設定されています。

・絵本には、「ぎんちゃん」という主人公が登場します。自閉症スペクトラムとADHDの様相に関連する”生きづらさ”が作品には描かれています。ぎんちゃんがこれらの場面で伝えたいことは「好んで癩癩やパニック、暴れていない」という点です。無意識にその負の状況に陥るため、本人も周囲も辛くなる。どうかこのメッセージが多くの大人に届き、感銘を受けた大人が身近な子ども達へ伝えていく”このようなサイクルが広がることを願っています。



・ぎんちゃんのように”言葉の遅れ”や”感覚の偏り”、”こだわり”等がないお子さんでも、自分の思いや考えが受容されず、周囲から浮いたり注意指摘の対象になってしまうお子さんは全国にたくさんいます。このようなお子さんが周囲の理解と手助けを通じて、学校(園)生活を謳歌できることを切に願います。

対象年齢

読み聞かせ：5歳～／道徳授業：4年生～

読みかせ後にみんなで振り返りたい場面

・物語に登場してくる”怪獣ギャラゴン”は、よく見ると涙を流しています。また、ぎんちゃんはその後「本当はギャラゴンなんかになりたくない」とも発言しています。この部分を”大人の価値観を子どもに植え付けず”、聞き手自身の人生経験と合わせて振り返りができると良いと思います。



・神経発達障害の特徴と関連した場面がいくつかあります。「①車のタイヤをじーっと見つめる②曜日に合わせた服選び③トラウマになっている禁句ワードと癩癩④くるくるの世界⑤心の中のコップ⑥言葉の遅れ」等、さまざまに描きました。何かをじーっと見つめたり、言われてカチっとくる言葉等、私たちにもありませんか?著者としては、決して障害は”人事”ではないことをわかっていたけるとありがたいです。(私たち健常者だって、”ADHDの不注意”や”自閉症の感覚の偏り”等があるでしょう??と言いたいです)

★購入された方へ★

プレゼントさせていただきます。
そして、いろんな方へ広げてください。
よろしくお願いします。



ぼくはもう
怪獣じゃないぞ!



小学校教諭向け指導案が
ダウンロードできます!

2024年 4月 吉日

小学校
特別支援コーディネーター 様
4・5・6学年 ご担当者様

合同会社にぬふぁ一星
(事業所名：発達キッズ専門相談訪問支援にぬふぁ一星)
うるま市石川赤崎2丁目20-1 うるま市IT事業支援センター2号館・1F
TEL・FAX 098-988-5217
法人代表：仲程 齋人

2024年度 特別の教科 道徳 出前授業の依頼

拝啓 時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。ご多忙な中で、この文書を読んでいただけることに、感謝申し上げます。

合同会社にぬふぁ一星は、うるま市石川赤崎地域に事業所があり、障害のある方や発達に課題を抱える児童生徒に対し、障害福祉サービス等を利用するための「計画相談支援」や、保育所や小中学校等の集団生活における様々な課題解決にあたり、当該児童や学校関係者様、保護者様に対し適切な関わり方や専門的な視点による提案等を行う「保育所等訪問支援」サービスを、中南部圏域にて行っております。

さて、昨年度の7月1日に絵本「ぼくはもう怪獣じゃないぞ!」を出版させていただきました。絵本には「先生達にも授業で活用してほしい」「インクルーブ教育の一助になりたい」との願いも込めております。

ぜひ、添付している「小学校4・5・6学年用 特別の教科道徳 学習指導案 Ver4」もご確認いただき、出前授業の依頼の検討に活用いただければ幸いです。

また、出前授業を依頼される学校様はTELまたはFAXにてご連絡をいただけると幸いです。

敬具

記

添付資料（出前授業依頼書、パンフレット、絵本の解説書、
小学校4・5・6年学習指導案、訪問支援についての学校一覧）

（このままFAX送信用紙としてお使いください。TEL・FAX 098-988-5217）

学校情報	（ ）小学校 ご担当者様 名前： ご連絡先：	
出前授業	<input type="checkbox"/> 依頼する	<input type="checkbox"/> その他詳しく聞きたい
費用と進め方	1クラスずつ行います。費用は1クラス4400円（税込）と1kmあたり30円の交通費の合算となります。 ※市町村の規定・事情に基づいて行うため、調整は可能です。	
日程調整・準備	打ち合わせ（ZOOM）を1回行なった後、別日に本番を行います。準備は打ち合わせの際にお伝えします。 ※特段大掛かりな準備はありません。ご安心ください。	

- 1 主題名「相手気持ちや願いに気づく目と心を育む」
内容項目B [主として人との関わりに関すること：親切、思いやり]

- 2 教材名「ぼくはもう怪獣じゃないぞ！」 出典（三恵社）

3 指導観

(1) 価値観

文部科学省の調査（2022、12月）に通常クラスにおいて学習面や行動面で著しい困難を示す発達障害の可能性のある児童生徒の割合が8、8%存在する（※1）との結果があった。一方、道徳科の教科書においては視覚障害や聴覚障害等のいわゆる「見てわかりやすい障害」についての教材は多く存在するが、発達障害を含む知的障害の「見てわかりにくい障害」については、1教材のみであることがわかった。（※2）授業のニーズとして高水準にあると推測できる一方で道徳科に落としにくいという点は早急に整備する必要があると考える。本計画案では、教材を絵本「ぼくはもう怪獣じゃないぞ！」を用い、小学校学習指導要領、特別の教科道徳編にある「親切、思いやり」と関連させながら進めていく。また、当該クラスには学習面や行動面で著しい困難を示す発達障害児も存在することを前提に記載していく。

親切、思いやりは、誰に対しても、思いやりの心を持ち、相手の立場に立って親切にすることである（※3）が、高学年においては、絵本を通じて通常ではストレスを抱かない状況でもストレス抱いてしまう児童が存在することや痲痺やパニック、こだわり行動には背景があることに気づき、自分事のように気持ちを汲み取りより良い言葉掛けや配慮を産出できる機会を作りたい。また、発達障害等の「見てわかりにくい障害」の理解からインクルーシブ教育（※4）を進めていきたい。

(2) 児童観

当事業所における訪問支援において近年感じることは、感情が溢れ危険行為等をする児童については、必死な形相で対応する先生や保護者。傍観している児童・生徒は見えても意識しないように俯く子や疲弊している当該児や大人にかける言葉が見つからず時を過ごす子、または、いわゆる問題児には否定的なレッテルを貼る子のように「どう振る舞って良いかわからない子」の存在を感じる。このような課題に対して、絵本に登場する人物の汲み取りから対応方法を学び、結果的には自他をより多角的・多面的に捉える学習活動を構想していきたい。

(3) 教材観

自閉症スペクトラムとは生まれつきの発達障害であり、感覚の困難・偏りよりこだわり行動が生まれ、そのこだわり行動により社会生活や集団場面で困難さが生まれてしまう疾患である。感覚の困難や偏りに対して合理的配慮を施すことで、こだわり行動は軽減・改善するとされているが、どのケースも困り感が生まれた後に時間をかけて診断や合理的配慮がなされるため事後対応となる。この一連の流れに変容をもたらすことは難しいが、感覚の困難や偏りについて自身で振り返ると「黒板に爪を立てて擦る音が苦手」のように発達障害児に限らず、どの子もそれぞれに感覚において得意と苦手さは存在する。

「ぼくはもう怪獣じゃないぞ！」では、ぎんちゃんという主人公の感覚（五感）における得意不得意から派生するこだわりや困り感が描かれており、本全体には「自閉症」という文言は用いてない。また、涙を流しながら叫ぶ怪獣が現れ、好んでその姿に変化していないことも強調されているため、障害の有無に関係なく純粋に自他の得意不得意を振り返ることができると考える。このように、ぎんちゃんという人物からより良い言葉掛けや配慮を産出し、実生活においても思いやりややさしさをもらった対人交流を実現していきたい。

4 本時の指導

(1) ねらい

怪獣ギャラゴンに返信したぎんちゃんの心情を考察し、実生活においても心情を考察する気づく目と心を育む。

（教材名「ぼくはもう怪獣じゃないぞ！」 内容項目（親切・思いやり））

(2) 授業の工夫

子どもたちそれぞれが培ってきた親切心や思いやりを駆使して、ギャラゴンになる前にするべきだった言葉掛けや配慮を想定し、相手の心理に寄り添った関わりを見出せるようにする。

授業ではギャラゴンの心理を想起する機会やより良い言葉掛けや配慮を子どもたちの議論により生み出し、さらには特定の児童の過去のネガティブエピソードをデモンストレーション形式でより良い方向で終結できる機会も設定する。

(3) 展開

段階	学習活動	主な発問	予想される児童の発言や心の動き	◆指導上の留意点 ◎評価 (生徒指導の4つのポイント)
導入 7分	<p>ルール 自分の思いや考え、みんなと違う意見でも遠慮はせず伝えよう。楽しく学ぶ場なので相手に不快な思いをする発言は控えよう。</p> <p>1 授業者の自己紹介 2 ぎんちゃんの紹介</p>	<p>(授業者の自己紹介) 別途資料用意 (ぎんちゃんの紹介) ぎんちゃんは実際に生きている子どもです。昔に支援をした子どもでした。人間なので得意不得意があります。例えば車のことをよく知っていたり、苦手なことは音でした。ざわざわしたりする場所は、みなさんの聞こえ方よりも大きくうるさく聞こえて、耳塞ぎや何かに集中して気を紛らわしていた子どもでした。また、言葉をうまく伝えることが難しかったです。</p>	<p>(授業者の自己紹介) ・なかほどさんって呼ばばいいんだね。 ・どんな話をするのだろうか (ぎんちゃんの紹介場面) ・ぎんちゃんってどんな子だろう。 ・障害をもった子かな？ ・うるさく聞こえるってどんな感じかな。</p>	<p>◆別途資料1 (授業者の自己紹介) 1分以内で終わるように事前に資料を準備し名前や職業等を端的に伝える。</p>
展開 前段 23分	<p>3 ギャラゴンのシーンを見て、ギャラゴンの心情を予測する。 →気づいたことをペアトーク</p> <p>4 ギャラゴンになるまでの物語を読み、より良い言葉かけや配慮を考える。 (P1～P7) →グループワーク</p> <p>5 登場人物に変わり適切な言葉かけや配慮をデモンストレーションを通じてより多くの考えや自分の考えを交換する。俯瞰する。 →ぎんちゃん役1名、お母さん役1名のデモンストレーション</p>	<p>君たちならどんな言葉かけや配りよをする？</p> <p>「赤色の服を見つたたくて苦しくなったぎんちゃんにお母さんは気づかず「散らかさないで服を着なさい」といってしまいギャラゴンになってしまう。」この言葉を別の言葉に変えてみましょう。そして、その時の伝え方や表情等の配慮も考えてみましょう。</p>	<p>(ギャラゴンのシーン) いたい、いらいら、怒っている、泣いている、かたしい、いやだいやだ</p> <p>(より良い言葉掛け・配慮のシーン) 【言葉】 ・大丈夫、大丈夫。 ・一緒にさがそうね ・自分で好きな服を選んでね。 【配慮】 ・お友達の相談に乗る時のように真剣に ・笑顔でやさしく</p>	<p>◆ギャラゴンのシーン ワークシートにもギャラゴンのイラストを掲示し、吹き出しに思いや考えを想起記載しやすくする。</p> <p>◆ペアトーク 自己表現が難しい児童については、学級担任や機関巡視を通じて補助を行う。</p> <p>◆グループワーク ペアトークにて対話的な態度で実施できている児童をビッグアップする。 デモンストレーション場面は、笑いはあってもおふざけで終えないよう留意する。配慮という言葉は、所作や表情等の関わり方全般を指すことも丁寧に伝える。</p> <p>◆ホワイトボードにグループの考えを記載し、その後発表掲示へ活用する。</p>

<p>終末 (15分)</p>	<p>6 絵本「ぼくはもう怪獣じゃないぞ！」を最後まで読む。 →一斉指導</p> <p>7 絵本「ぼくはもう怪獣じゃなしぞ」を通じて、感じたことをワークシートに記載する。 →ワークシート</p>	<p>・今日はみなさんの素敵で素直な思いや考えを聞くことができました。言葉かけは思いおを伝えること。配慮は気を配ることです。みなさんならきっと、大きなトラブルになる前に素敵な言葉を伝えて良い方向でさまざまな問題も乗り越えるでしょう。ぜひ、毎日の生活でも今日の学びを活かしてください。最後に、絵本を読み上げ、感想を書いて終わりたいと思います。 (時間が無い場合は、数人に感想を発表する)</p>	<p>(読み聞かせ後)</p> <p>・自分にもこんな気持ちになったことがあったことを思い出しました。</p> <p>・怪獣になりたくない気持ちがとても伝わりました。</p> <p>・タイヤをくるくるさせるには、特別な理由があるかもしれないと感じました。多分怒られた後だから？</p> <p>・誰かがイラッとしていたり、辛そうな時は、助けてあげようと思いました。</p> <p>・ぎんちゃんはぼくよりも苦手なことが多いなど感じました。</p>	<p>◆一斉指導</p> <p>・(クラスの実態に応じて)近くに寄り見やすい位置に座ることも許可する。</p> <p>◆ワークシート</p> <p>・感想を書く場面では、率直な気持ちを書けるように、オープンクエスチョンを用いる。授業の方向性や趣旨を理解した児童はぎんちゃんの気持ちを汲み取り記入すると予測。「楽しかった」等で簡略的に終える児童は教育活動全般に対話を用いる等、個別ケアを大切にしていく。</p>
---------------------	---	--	---	--

(4) 評価の視点

- ・より良い言葉かけを想定することができたか。
- ・実生活場面に沿った、建設的な配慮を思考することができたか。

(5) 板書計画

別紙参照

5 他の教育活動等との関連

(学級活動、体育、生徒指導等)

要支援児や通常クラスに存在する支援を要する子について、クラス全体で考える機会を持つ。また、いわゆる問題行動に対して「好んでその状態に至っていない」ことを教師自身が念頭に置き、適宜全体指導ができるようにしておく。また、他の専門家を招き自他の得意不得意を俯瞰し実生活に活用できる機会を設ける。

6 参考資料

- (※1) 通常の学級に在籍する特別な教育的支援を必要とする児童生徒に関する調査結果(令和4年)について(令和4年12月13日、文部科学省)
- (※2) 小学校・中学校における「特別の教科 道徳」の教材としての障害、障害と内容項目の関連に着目して(青木利樹、田中亮、奥住秀之、大井雄平)教育研究実践報告誌2021.3 第4巻第2号 pp.19-26
- (※3) 小学校学習指導要領(平成29年告示)解説 特別の教科道徳編 親切、思いやり(p38)
- (※4) 共生社会の形成に向けたインクルーシブ教育システム構築のための特別支援教育の推進(報告)平成24年7月23日初等中等教育分科会
- その他・生徒指導提要(改訂版)、生徒指導の構造「2軸3類4層」を用いて共通理解を図る!西部教育局お役立ち情報令和5年2月号、

「ぼくはもう怪獣じゃないぞ！」 (板書計画)

ルール

自分の思いや考え、みんなと違う意見でも遠りよはせず伝えよう。
 楽しく学ぶ場なので相手に不快な思いをする発言はひかえよう。

言葉かけ	言葉を軽くかけること。話しかけること。
配りよ	(相手に合わせて) 気を配ること。
デモン ストレーション	実際に再現してみる

1、君たちならどんな言葉かけや配りよをする？

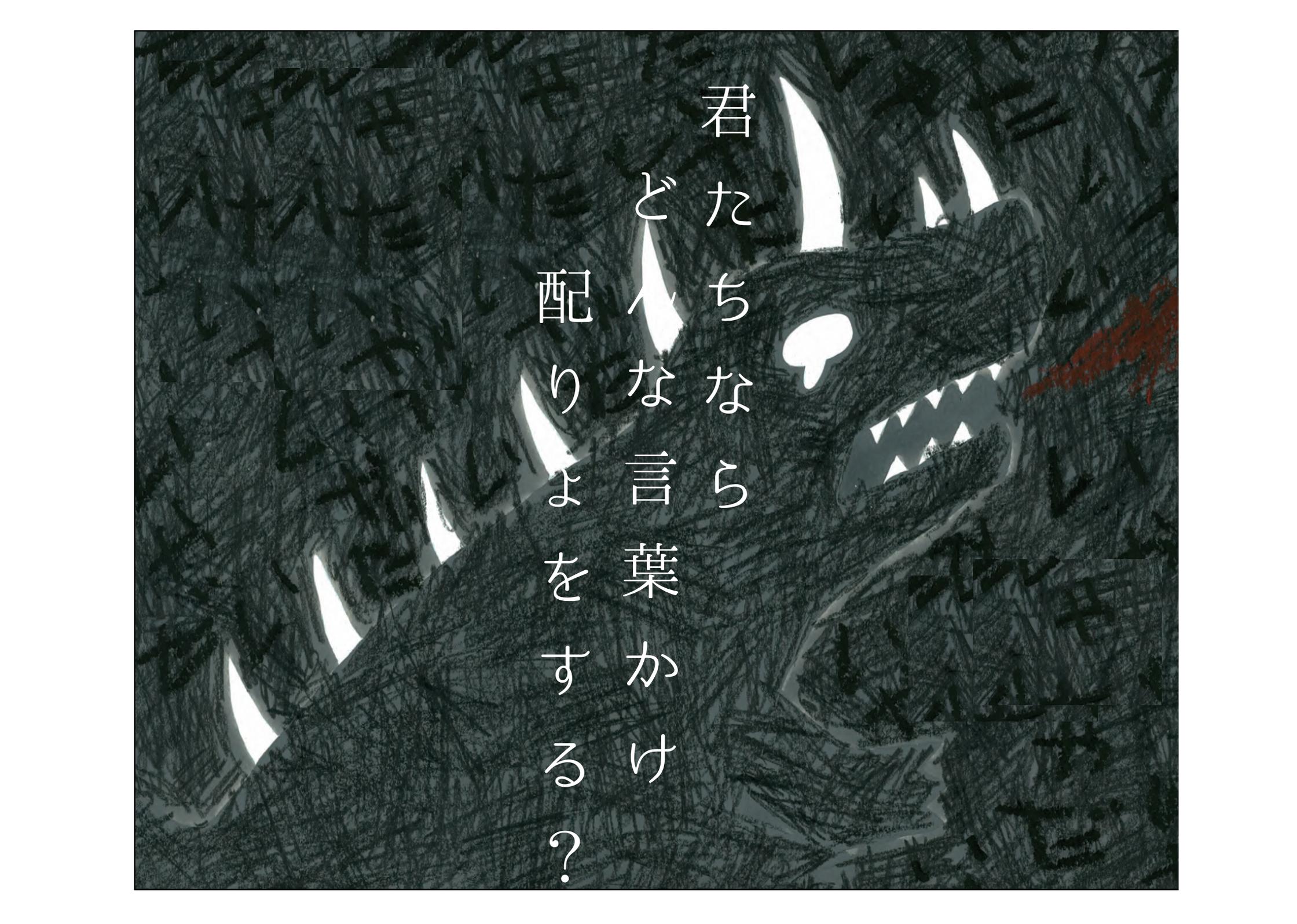
物語の流れ		君たちなら どんな言葉かけや配慮をする？
① 	(場面・二人のやりとり) お寝坊をして時間がないのに、服を着ないで服を散らかすのです。	(ぎんちゃんやお母さんの言葉) (ぎんちゃん) 「あか あか ない かあ かあ (赤 赤 無い おかあさん) つう かあ かあ み すい あお (月→赤色、火→緑色、水→青色) も んじ き くる かかぶっぶー (木→オレンジ、金→黒色、おかあさんブブー)」
② 	ママはその辺りの洋服をとり、ぐいぐいと無理やり着せるのです。入学式でもママは嫌がるぎんちゃんに無理やり着せました。	(母) 「散らかさないで早く服を着なさい！」 (ぎんちゃん) 「やだ やだ」
③ 	怪獣ギャラゴンが現れました。家の中を暴れ回りました。ママも必死に止めましたが止まりませんでした。ギャラゴンは涙を流しながら、叫びました。	(母) 「やめて！」 (ぎんちゃん) 「たい たい たいよー けて やだ やだ はあ はあ」



「散らかさないで早く着なさい！」を

その時の配慮は、
 の言葉に変えます。

にすることが良いと思いました。



君
ど
配
り
を
す
る
？

た
ち
な
ら
ば
な
言
葉
か
け

「ぼくはもう怪獣じゃないぞ！」 (ワークシート)

言葉かけ	言葉を軽くかけること。話しかけること。
配りょ	(相手に合わせて) 気を配ること。
デモン ストレーション	実際に再現してみる

1、君たちならどんな言葉かけや配りょをする？

物語の流れ			君たちなら どんな言葉かけや配慮をする？
① 	(場面・二人のやりとり) お寝坊をして時間がないのに、服を着ないで服を散らかすのです。	(ぎんちゃんやお母さんの言葉) (ぎんちゃん) 「あか あか ない かあ かあ (赤 赤 無い おかあさん) かかぶっぶー (おかあさんブブー)」	<p>「散らかさないで早く着なさい！」を</p> <div style="border: 1px solid gray; height: 130px; width: 100%;"></div> <p>の言葉に変えます。</p> <p>その時の配慮は、</p> <div style="border: 1px solid gray; height: 110px; width: 100%;"></div> <p>にすることが良いと思いました。</p>
② 	ママは その辺りの洋服をとり、ぐいぐいと無理やり着せるのです。入学式でもママは嫌がるぎんちゃんに無理やり着せました。	(母) 「散らかさないで早く服を着なさい！」 (ぎんちゃん) 「やだ やだ」	
③ 	怪獣ギャラゴンが現れました。家の中を暴れ回りました。ママも必死に止めましたが止まりませんでした。ギャラゴンは涙を流しながら、叫びました。	(母) 「やめて！」 (ぎんちゃん) 「たい たい たいよー けて やだ やだ はあ はあ」	

お友達の考えや参考になった意見。または自分と異なる意見は？

あった（書ける人は下に書きましょう） なかった

ぎんちゃんにメッセージを送ってくれるとうれしいな。

書ける人はぜひ書いてください。



今日の授業で自分の気持ちや考え方に変化は？

あった（書ける人は下に書きましょう） なかった

仲程さんにメッセージを送ってくれるとうれしいな。

書ける人はぜひ書いてください。

